

公共施設で「したいこと」と活用方法 ～第2回芋井地区市民ワークショップ～

2016年6月4日
前橋工科大学 堤洋樹

本ワークショップの目的

芋井地区にある
公共施設を通して
「生活」を考える

本ワークショップでの約束1

立場など関係なく
参加者全員が
アイデアを出す

本ワークショップでの約束2

他人のアイデアは
上手く活用する
否定はしない

本ワークショップでの約束3

既存の用途や制度は
考えなくて良いので
自由に発想する

グループ検討第1部

～私たちが公共施設で「したいこと」～

検討課題1

私たちが公共施設で
「したいこと」を
できるだけ多く書出す

検討するポイント1

- × 「欲しいもの」
- × 「あれば良いもの」
- 「したいこと」

検討するポイント2

「したいこと」を
メンバーで話し合い
アイデアを膨らめます

検討するポイント3

ある程度数が出たら
同じ様なアイデアを
グループにする

グループ検討第2部

～「したいこと」のために公共施設をどう利用するか～

検討課題2(前半)

第一部のアイデアを
公共施設の図面に
全て落とし込む

検討するポイント4

公共施設を一つ選び
どこで「したいこと」
が出来るか検討する

検討するポイント5

「したいこと」に
求められる設備でなく
必要な空間で考える

検討課題2(後半)

選択した公共施設を
一部取壊して
アイデアを再配置する

堤研からの提案

～欲しい空間は自分で確保する
自給で作ろう私たちの「ひみつきち」～



施設ではできない体験を提供する

使っていない施設や使い勝手が悪い施設。これら施設の最大の問題は規模が大きすぎるのではないだろうか。もったいないから無理に使うのではなく、余裕があるスペースを自由に使える場に変換し、今までにない体験ができる活動拠点への変換が求められている。

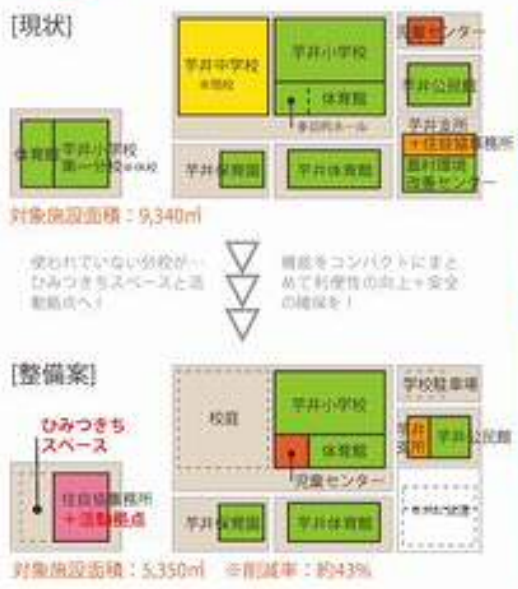


欲しい空間は自分で確保する 自給で作ろう私の「ひみつきち」

公共施設の現状
公共施設は有効に活用されているだろうか。豊かな自然が魅力的な茅井地区。立派な施設も多いけれど、あまり自由に使えない。できれば大勢が集まって楽しく使えればいいのに...

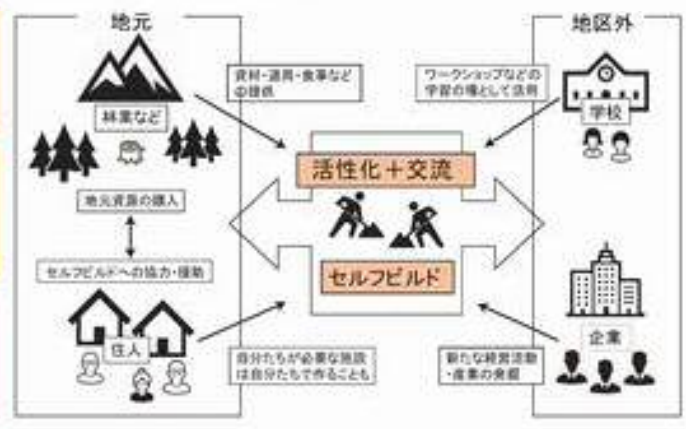
自給で「ひみつきち」を作りたい
欲しいのは施設ではなく公共サービス。BBQ、日曜大工、イベント、合宿、天体観測... やりたいことは沢山あるけれど今の施設では難しい。だったら施設よりも自由に使えるスペースが欲しい。例えば自分たちだけの「ひみつきち」を作ったら...

公共施設再編の方向性
やりたいことをするために施設を集約。使っていない施設は取り壊し、機能を集約する。機能は減っていないのに自由に使える空間は増えた。分校は活動拠点として地区外からも人が集まる場に。欲しい空間を自分で確保することは楽しい。



- 中学校取り壊し後**
 - 遊ぶ場所が広がって嬉しい
 - 危険な校舎が整備され嬉しい
- 児童センター再設後**
 - 校舎からそのまま行けて便利
 - 駐車場でき 迎えに行きやすい
- 支所・公民館 統合後**
 - 全館施設を活用できて嬉しい
 - 支所と公民館が隣で安心便利
- 自治協働型「ひみつきち」整備後**
 - 自治協働場所が誕生した
 - ひみつきちに人を呼び込める

セルフビルド(自給)による活性化+交流の促進
自分で自分の空間を作ること前提に、セルフビルドを様々な方法で支援。なお土地は分校の敷地(体育館を取り壊したスペース)を利用し、無料で貸与する。また分校の一部を作業場やイベント等の活動拠点として転用することで、地域の活性化や新たな交流の場が形成される。



芋井地区

再整備検討参考資料

欲しい空間は自分で確保する

現在



の公共施設の現状

- 公共施設は有効に活用されているだろうか-

豊かな自然が魅力的な芋井地区。
立派な施設も多いけれど、あまり自由に使えない。
できれば大勢で集まって楽しく使えればいいのに…
将来に繋がる施設整備が求められている。

[現状]



対象施設面積：18,926㎡

現状の問題点/留意点

- ※長野市全体で施設総量が多く、20%程度の総量削減が求められている
- ※施設によってはそのまま使えない、もしくは改修等が必要な施設があるが、最低限の費用にする必要あり
- ※新たな施設整備は基本的に行なえない
- ※インシナルコストだけでなくランニングコストの削減も考慮した追加サービスを検討する必要あり

[コスト概算]

イニシナル(改修+解体)：約 0.00億円
ランニング(1年)：約 1.05億円
ライフサイクル(60年)：約129億円

自給で作ろう私の「ひみつきち」

5年後



で「ひみつきち」を作りたい

- 欲しいのは施設ではなく公共サービス-

BBQ、日曜大工、イベント、合宿、天体観測…
やりたいことは沢山あるけれど今の施設では難しい。
だったら施設よりも自由に使えるスペースが欲しい。
例えば自分たちだけの「ひみつきち」を作れたら…

[分校活用段階]



対象施設面積：14,478㎡ ※削減率：約24%

分校を有効活用し、人が集まる活動拠点として整備

[メリット]

- 活動拠点の充実による集客 (ひみつきちスペース)
- 駐車場の充実
- 分校施設の活用
- 分校周辺にも施設あり

[デメリット]

- 高齢者施設が少ない
- 支所や公民館が狭くなる
- バスルートの変更が必要
- 中学施設が活用できない
- 集約効果はやや少ない

[コスト概算]

イニシナル(改修+解体)：約 0.69億円(5年後)
ランニング(1年)：約 0.86億円
ライフサイクル(60年)：約104億円 (約20%削減)



公共施設再編の方向性

- やりたいことをするために施設を集約 -

使っていない施設は取り壊し、機能を集約する。
機能は減っていないのに自由に使える空間は増えた。
分校は活動拠点として地区外からも人が集まる場に。
欲しい空間を自分で確保することは楽しい。

20年後



な支所に賑わいを取り戻したい

- 効率的な施設整備による住民が集う場を整備-

カラオケ、手芸、会合、パレー等のサークル活動…
現支所に公民館・体育館が加わることで、多世代が集まる複合施設に大きく変わる。分校はなくなるが、その分ゲートボールなどの活動が活発になれば…

[支所集約段階]



対象施設面積：11,878㎡ ※削減率：約37%

支所更新の際に、分散した施設を集約的に整備

[メリット]

- 施設の集約による利便性大 (支所+公民館+かがやき広場)
- かがやき広場の集約
- 施設更新の代替地確保
- 運用コストの削減

[デメリット]

- 外部から人を呼ばめない
- 施設間の連携が難しい
- 支所の駐車場が狭い
- 空地の増加
- 整備までに時間がかかる

[コスト概算]

イニシナル(新築+解体)：約 8.7億円(20年後)
ランニング(1年)：約 0.77億円
ライフサイクル(60年)：約 90億円 (約31%削減)

施設整備における市民との協働例

[事例] 会津若松市 第7次総合計画に向けた 地区別ワークショップ ※全地区で実施

～未来の行仁小学校を創るワークショップ～
みんなで考えよう！
わくわくする行仁小学校！！

→小学生から教員・保護者・
教員・自治会など約60名
9チームで開催



「行政⇔市民」ではなく「行政 = 市民」



市民だけでなく行政が、ワークショップ等の活動を通じて
公共施設整備のあり方を再認識する機会を作る



ワークショップの成果

面白いアイデアがたくさん出ました！
みなさん、ありがとうございます！

全2回のワークショップの成果は次のとおりです

<p>Aグループ（児童① 5年生）</p> <p>◎ 選んだ教室：昇降口</p> <p>◎ 新しい使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 忘れ物屋をつくり、忘れ物をしても借りられるようにする。 忘れ物屋には電話があり、親に持ってきてもらうことができる。 文房具やお菓子を売っているお店もあり文房具を買ったりお菓子を産れをいやすことができる。 お店は地域の人も利用できるので地域活性化につながる！ 	<p>Bグループ（児童② 5年生）</p> <p>◎ 選んだ教室：体育館</p> <p>◎ 新しい使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の絵を展示し、お年寄りやカップルなど誰でも観ることができ 校日はライブハウスとして使い、校長先生がさくら-はみのはみやお笑い芸人など芸能人を呼んでくれる。 自由に汚せるスペースがあり、絵を描いたり作品を作ったりできる。 地域の人も体験したり、スポーツをしたりと自由に利用できる。 	<p>Cグループ（児童③ 5年生）</p> <p>◎ 理科室</p> <p>◎ 新しい使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁が水槽になっており、イスもくるくる回るので水族館のように楽しめる。 サメや電気ウナギ、ドクターフィッシュなどの水槽があり、ふれあいできる。 休日は大人もいっしょにエサやりや実験が楽しめる。 理科の楽しさ、魚の楽しさを大人もこどももみんなで学ぶことができる！
<p>Dグループ（児童④ 6年生）</p> <p>◎ 選んだ教室：図書室</p> <p>◎ 新しい使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の情報センターとして位置付ける（PC設置、郷土資料の展示など） 窓向きに机を配置し集中して勉強できる環境を作る。 ソファやこたつ、飲料販売など、様々な年代の方がつくれる空間を作る。 シアタールームがあり、地域の方とワールドカップ観戦などを行う 	<p>Eグループ（大人①）</p> <p>◎ 選んだ教室：体育館</p> <p>◎ 新しい使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁が自由に動かせる、壁がホワイトボードになっている、など自由度を高くし、様々な使い方ができるようにする。 授業で使わない時間を地域住民に有料で貸出し、地区の人と交流を促すことで地域が活性化していく。 	<p>Fグループ（大人②）</p> <p>◎ 選んだ教室：教室</p> <p>◎ 新しい使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> イスや机が自由に動かせる、壁がホワイトボードになっている、など自由度を高くし、様々な使い方ができるようにする。 授業で使わない時間を地域住民に有料で貸出し、地区の人と交流を促すことで地域が活性化していく。
<p>Gグループ（大人③）</p> <p>◎ 選んだ教室：図書室</p> <p>◎ 新しい使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の情報センターとして位置付ける（PC設置、郷土資料の展示など） 窓向きに机を配置し集中して勉強できる環境を作る。 ソファやこたつ、飲料販売など、様々な年代の方がつくれる空間を作る。 シアタールームがあり、地域の方とワールドカップ観戦などを行う 	<p>Hグループ（市職員）</p> <p>◎ 選んだ教室：給食室</p> <p>◎ 新しい使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> フロアを広くし、休日は大人もレストランとして利用できるようにする。 セキュリティ対策として休日専用の出入口をつくる。 児童がレシピを考案する、大人と食事を楽しむなどを通して食育を推進する。 	<p>Iグループ（教職員）</p> <p>◎ 選んだ教室：庭（校庭）</p> <p>◎ 新しい使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> 土を植えたり、実のなる木を植える。 夜も入れよう、ライトアップする。 ピオトブをつくり、緑地危機種を育成する。 水や土を循環させ、たい肥などを地域の人のいっしょにつくり、手入れすることで児童と住民との交流や学びが生まれる。

◆ お問い合わせ：会津若松市役所 企画調整課 (In.39-1201 / Fax.39-1400 / メール kikaku@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp)

本ワークショップでの確認

「したいこと」から
公共施設を考えると
公共施設が変わる